

令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

事業の状況

社会の繁栄の基礎は、科学技術の進歩と産業経済の発展にあるとの考えに基づき、わが国の優れた独創的な研究開発を推進し、科学技術の発展と国民生活の向上に貢献したいという当財団設立提唱者市村氏の想いを実現するため、令和2年度も関係各方面の方々のご支援とご協力により以下の事業活動を積極的に展開し所期の成果を収めました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大により令和元年度に引き続き、各種事業に影響が出ました。

1. 科学技術の研究開発助成

(1) 新技術開発助成

科学技術に関する独創的な技術を実用化するために技術開発の努力をしている中小企業へ助成する事業です。令和2年度は12件(総額218,130千円)の助成を決定し、令和2年8月4日及び令和3年2月10日に、オンライン形式で贈呈式を行い助成金を贈呈しました。なお、平成30年度の第2次より募集を開始した環境分野については、当該年度の第2次において1件の助成がありました。

(2) 地球環境研究助成

人類の継続的発展のためには地球環境の保全、中でも地球温暖化対策が喫緊の課題となっています。このような状況に鑑み、重要課題解決のための研究テーマに対して助成を行う事業です。審査委員会の推薦に基づき5件(総額22,000千円)の助成を決定し、令和3年2月12日にオンライン形式で贈呈式を行い助成金を贈呈しました。

2. 新技術顕彰(市村産業賞、学術賞、地球環境賞の贈呈)

(1) 市村賞の贈呈

令和2年度の第53回市村賞は、産業賞(本賞1件、功績賞2件、貢献賞5件)、学術賞(功績賞2件、貢献賞6件)、地球環境産業賞(貢献賞1件)、地球環境学術賞(貢献賞2件)合わせて19件(賞金総額82,000千円)の受賞が決定しました。第53回市村賞贈呈式は令和3年4月19日に、帝国ホテル東京「孔雀の間」およびオンライン視聴にて行い、新型コロナ感染防止対策を講じたうえで表彰状を贈呈しました。

(2) 国際技術交流：国際研究集会参加助成及び国際研究集会開催助成
市村学術賞、地球環境学術賞の受賞者が国際会議などの国際研究集会に参加する
場合の渡航旅費の助成、並びに国際研究集会の開催助成については、新型コロナウ
イルス感染拡大の影響により、中止または延期となり当年度の該当案件はありません
でした。

(3) 市村賞受賞記念フォーラム

令和2年7月17日に、名古屋マリオットアソシアホテルにて3回目を開催予定
でしたが、新型コロナの影響で中止となりました。なお、令和3年度のフォーラム
は同会場にて、オンライン視聴も併用したハイブリッド形式にて実施予定で基調講
演は同じく、早稲田大学 尾形 哲也教授の予定です。

3. 少年少女創造性育成

(1) 第51回市村アイデア賞

第51回市村アイデア賞は、関係者の協力を得ながら各地に出向いて募集活動の
予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で6月中旬まで県間移動の自粛
要請によりほとんど活動ができませんでした。また小中学校の夏休み短縮など、こ
れらの影響もあり7月1日から9月14日までの募集期間に、23,988件の応募
となりました。

審査委員会の推薦に基づき、個人賞として文部科学大臣賞1件、市村アイデア優
秀賞1件、審査委員長特別賞1件、朝日小学生新聞賞1件、朝日中高生新聞賞1件、
科学技術館 館長賞1件、市村アイデア記念賞6件、市村アイデア奨励賞25件、佳
作50件、努力賞84件で合計171件を、団体賞として最優秀団体賞1件、優秀
団体賞2件、奨励団体賞3件、努力団体賞8件で合計14件を決定しました。

令和2年11月20日に北の丸の「科学技術館」に於いて表彰式を実施予定でし
たが、新型コロナの影響で中止となりました。朝日新聞に受賞者の告知広告を掲載
し、賞状、トロフィー等を送付する際に同新聞も同梱しました。なお、個人賞の奨
学金と団体賞の賞金の合計は4,530千円でした。

(2) キッズ・フロンティア・ワークショップ

小・中学生を対象に科学技術に関する講話や実験・製作などをおして、科学の
原理を楽しみながら理解し、科学技術への興味、意欲を高めることをねらいに(公
財)日本科学技術振興財団との共催、文部科学省、朝日新聞社、朝日学生新聞社の
後援、(株)リコーの特別協賛で「かがく・夢・あそび」をスローガンにワークシ
ョップを実施しています。

令和2年度は、半日コースを令和2年11月20日市村アイデア賞の表彰式後に
実施予定でしたが、表彰式中止に伴い中止となりました。冬休み1日コースは令和

2年12月19日、20日に高知市の「高知市文化プラザかるぽーと」にて、また、春休み1日コースは令和3年3月13日、14日に北の丸の「科学技術館」にて実施予定でしたが、それぞれ新型コロナの影響により中止となりました。

4. 植物研究助成

第29回の植物研究助成は、令和2年5月15日熱海の植物研究園において贈呈式を予定していましたが、新型コロナの影響で中止となりました。なお、研究者23名に総額32,990千円を贈呈しました。

令和2年度に募集、審査を行った令和3年度第30回植物助成では、23件、助成総額33,000千円の助成が決定しました。

5. 植物研究園の利活用

春の一般公開を令和2年4月13日～22日まで科学技術週間に併せて実施予定でしたが、新型コロナの影響で中止となりました。紅葉に合わせて秋の一般公開を令和2年11月23日～11月29日の7日間行いました。期間中の来場者は285名でした。